

解と御協力の程、心から御願い申し上げます。

さて、昨年における当連盟の各種大会における戦績は、県下におきましても誇れるものと自負しており、選手は勿論、各指導に当たられた諸先生方に敬意を表す次第であります。

今年は、もとと上を目指し頑張つて頂きたくお願い申し上げます。そこで、今年は、当連盟の更なる技術向上の為、合同稽古会の開

石巻剣道連盟会長  
齋藤正美

年頭摘要

劍道耕人

広報誌  
第 3 号  
発行所

石巻劍道連盟  
広報記録部  
印刷所

催や、中央からの講師をお招きしての技術講習や剣道への取り組み等、新風を巻き起こし実感できる年にしたいと考えております。会員各位の提案等も期待致しております。よろしく御願いします。

今年はあの東日本大震災から五年目を迎えます。復興は道半ばながら我々は、剣道人としての創造の街づくりを目指しましょう。

今年も、皆様にとりましてより良い年になりますよう御祈念申し上げます。

明けましておめでとうございま  
す。昨年中は当連盟に対し、多大  
なる御支援御協力を賜りまして誠  
にありがとうございました。どうぞ  
今年も役員並びに会員各位の御理  
解と御協力の程、心から御願い申  
し上げます。

さて、昨年における当連盟の各  
種大会における戦績は、県下にお  
きましても誇れるものと自負して

平成二十七年九月十三日、県武道館において宮城県民体育大会が行われ、石巻からは二つのチームが出場しました。両チームの結果をご報告致します。

石巻Aチームは、一回戦は名取市に七対一で勝利、二回戦では四対三で泉区に勝利、さらに三回戦では六対二で宮城野区を破り、準決勝まで順調に駒を進めました。準決勝では青葉区Aと対戦し、ここでも五対一で勝つことができました。決勝に進みましたのが、ここまで全試合において、大将戦をぶりでした。決勝前も選手たちは落ち着いていたように思います。しかし決勝戦の登米Aは強敵でした。今までの試合の流れが一変し、とつて取られてという試合運びとなりました。四対四、得本数差での僅かなリードで迎えた大将戦。結局大将戦は引き分けとなり、本数差で勝利することができました。

今大会では、A・Bチームとともに小中高生の活躍が光りました。そのおかげでの優勝だったと言えると思います。顔合わせや合同稽古も十分にできなかつたが、このような結果を残すことができ、非常に嬉しく思います。

これまでご指導くださった皆様、ご尽力くださった先生方、ご協力くださった保護者の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。来年の大会でも優勝できるチームをつくるよう力を尽くして参ります。



団体優勝チーム紹介

石巻Aチ-1

勝秀之

卷之三

地  
風  
花

村  
颯太

藤  
澄花

橘海晴

沿  
友里

卷之三

卷之二

四  
房子

藤智博

高彰

二三

# 第4回 石巻地区少年剣道錬成大会

## 錬成大会を終えて

去る十月十一日(日)、第四回石巻地区少年剣道錬成大会が行われました。合併二年目となり、石巻地区の小・中学生二九八名と多数の参加者を得て、今年度は、小学生団体・個人、中学生個人と、大会内容を例年通りに戻した形で行いました。

開会式、雄劍館・遠藤拓斗選手の宣誓は参加者の心に響き、震災から五年を迎えるようとしている今、剣道が続けられる喜びを改めて感じさせられる素晴らしい内容でした。演武では、日本剣道形、木刀による剣道基本技古法を皮切りに朝の審判監督会議の中で、「応



打太刀：若生孝之五段

仕太刀：鈴木克範四段

選手宣誓をする  
遠藤拓斗選手

援は、できるだけ選手の近くでしてほしいこと」、「仲間や家族に囲まれた中で普段の稽古の成果が発揮できる、温かな大会を目指したこと」を事業部の意向として確認させていただきました。試合となれば、勝ち負けがついて回ります。「ただ勝てばいい」という試合だけはしたくないという思いがそこにはありました。

その中で、試合後は勝っても負けても正しい立居振舞いで引き上げる選手が多く、清々しさを感じました。また、対戦者同士が歩み寄り「ありがとうございました！」と、お互いの健闘を称え合う微笑らしい姿が見られました。まさに、交剣知愛の精神です。それも単位ごとの先生方の指導が生きていた証と思います。また、保護者の皆さんの応援も、しっかりと着座をして周りに気を配り、選手を見守る節度ある態度で参加していました。これも石巻剣道のよいところではないでしょうか。このようにして、大会を成功裏に終えることができました。

結びに、大会運営・審判に携わったいただいた剣連各部の先生方、準備から後片付け、係りとしてご協力いただいた保護者の皆さんに感謝いたします。ありがとうございます。

事業部副部会長 木村 剛美

## 第4回 石巻地区少年剣道錬成大会試合結果

### 小学生個人二年生以下の部（男女混合）

第一位 初貝 儒季（正心学館道場）  
第二位 川田 忍（湯殿山剣道スポーツ少年団）

### 小学生個人三・四年の部（男子）

第一位 吉田 智奈（湯殿山剣道スポーツ少年団）  
第二位 阿部 泰晴（鹿又剣道スポーツ少年団）

### 小学生個人三・四年の部（女子）

第一位 笠原 力斗（三獅剣友会）  
第二位 佐藤 杏美（正心学館道場）

### 小学生個人五・六年の部（男子）

第一位 小山 結衣（湯殿山剣道スポーツ少年団）  
第二位 佐藤 怜雅（鹿又剣道スポーツ少年団）

### 小学生個人五・六年の部（女子）

第一位 高橋 聖愛（桃武館剣道スポーツ少年団）  
第二位 加藤 那菜（山下中学校）

### 中学生個人一部（男子）

第一位 遠藤 拓斗（雄劍館）  
第二位 阿部 伊織（蛇田剣道スポーツ少年団）

### 中学生個人一部（女子）

第一位 斎藤 りん（矢本第二中学校）  
第二位 加藤 那菜（山下中学校）



試合前の元気な稽古風景

中学生個人II部（女子）	
第一位	大橋 瑞輝（矢本第一中学校）
第二位	星 佑弥（青葉中学校）
第三位	千葉 芹奈（桃武館剣道スポーツ少年団A）
第四位	千葉 夕子（蛇田中学校）

半澤直樹君 年長  
(東松島市剣道スポーツ少年団)



木和田先生の指導状況

二〇一五年十月三～四日東日本大震災後五回目となる武道フェスティバルが石巻市総合体育館を中心として被災地のスポーツ振興に寄与することを目的に開催されました。石巻市武道協議会に所属する石巻剣道連盟も積極的に実行委企画及び参加活動を行つてきました。三日夕方から石巻グランドホテルにおいて、スポーツ評論家であり石巻専修大学客員教授でもある玉木正之氏の「スポーツと武道」と題する講演があり、その後アスリートを迎えた親睦交流セレモニーで剣道講師として来石された大阪府警木和田大起先生との親睦も深めました。翌日四日は総合開会式に続いて、練士七段木和田先生によ

## 武道フェスティバル 石巻

る市内小中学生三十八名を対象に指導稽古があり、当連盟総務部の運営スタッフ始め諸先生方のご協力を得てサポートをしました。木和田先生は世界剣道選手権大会優勝、二〇一二年には全日本剣道選手権大会で日本一に輝いた日本を代表する剣道家であります。指導内容は、試合を意識した実践的な足捌き、竹刀操作など試合場のラインを使用し下半身強化と肩と足を大きく使う素振り等を説かれ、参加した剣士達も熱心に取り組んでいました。面を着装後も正面、コテ、連続技、応じ技等も実戦に即した基本技を中心に指導されま



稻井剣道スポーツ少年団は、豊田長 新沼 豊  
『心ある人間形成』を指導方針とし、剣道を通して健康な体を養うとともに相手を思いやり、感謝の気持ちは持てるよう健全な心身を鍛え育んでいます。剣道との出会いを大切に、長く剣道を続けて行けます。現在の団員数は中学生十四名、小学生二名の計十六名です。中学生は全員が初心者で中学校入学とともに入団しました。小学生は数年ぶりの入団です。指導者三名を主に、当団の卒業生も後輩の指導とともに、自分の技術向上のため稽古をしております。随時、団員募集をしております。初心者でも分かりやすく丁寧に指導しておりますので、お気軽に見学に来てください。

## スポーツ少年団の紹介

した。最後は、諸先生方にもお手伝い頂き掛稽古を十五分程行い、剣士達は木和田先生の胸を借り満足げな顔で終了しました。その後各武道の模範演技があり剣道は、三浦総務部部会長の指揮により小学生剣士十名が「木刀による剣道基本技稽古法」基本九まで立派に演じました。特練を引退された木和田先生は、現在警察官、少年剣道指導に力を注いでおり、全国の

少年剣士達の指導にも時間を割く事が出来ると言われ、気さくな人柄で当日使用した大阪府警の「夢」と書かれた面手拭をジャンケンでプレゼントし、またサインにも快く応じ剣士達に激励の言葉を贈つておられました。この剣士達の中から木和田先生のような剣道家が生まれる事を期待いたします。

総務部部会長  
三浦憲一



毎週月曜日 稲井公民館  
毎週木曜日 水沼東部構造改善センター  
問い合わせ先(团长) 新沼 豊  
090-1398-018965

平成二十七年度石巻剣道連盟より、剣道称号及び各段位に合格され全剣連より允許されました先生方の栄光を称えここに御紹介致します。

六段  
佐藤 修一先生六段  
小野喜代男先生七段  
三浦 功一先生鍊士  
阿部 好廣先生教士  
西村 悅郎先生

### 小学生強化練習会開催

日時 平成26年8月17～19日  
場所 高知県立県民体育館  
☆平成二十七年度  
蛇田中学校男子団体  
日時 平成27年8月22～24日  
場所 秋田県立武道館

7月30日  
学年別候補  
練習会  
8月8日  
学年別候補  
選考会  
9月12日  
稽古会  
10月15日  
稽古会  
11月7日  
稽古会  
合宿

東京大学剣道部指導講習会  
期日 二〇一五年八月二十二日  
場所 宮城県武道館



基本技のポイント説明



東京大学剣道部の合宿が宮城県武道館において開催されている中、強化練習会を指導部が中心となり遊楽館で行いました。充実した稽古時間をお過ごす事が出来ました。

武道館において開催されている中、8月22日県内沿岸被災地主体の小学生4～6年生男女90名を対象に指導講習会が開催され、石巻地区から13名の小学生が参加しました。指導は東京大学師範で登米市出身の佐藤勝信八段を中心に東大生男子50名、女子10名が指導にあたり、前中は佐藤八段が座札の仕方、

### 編集後記

皆様のご協力の元、無事に第三号を発行することが出来ました。前号の発行以降、多数の行事、試合、表彰等がありました。紙面の都合上掲載出来なかった記事も多数あり、広報部としましても残念に思うと共に、掲載を待ち望んでおられた方々に深くお詫び申し上げます。今後も出来る限り紙面を有効に活用して情報提供に心掛けたいと思いますので、今後とも宜しくお願いします。